

町立厚岸病院から ～患者目線の立場に立ち 地域医療と福祉を支えます～

●問い合わせ／町立厚岸病院 ☎52-3145

■令和5年度患者数・決算状況 (単位：人)	
入院患者	11,717
内科	9,922
外科	1,795
小児科	0
外来患者	36,471
内科	22,187
外科	3,806
小児科	5,646
整形外科	4,183
脳神経外科	649

町立厚岸病院は、町民の命と健康を守り、誰もが安心して生活できる地域社会を支える中核的な医療機関として、内科、外科、小児科、整形外科および脳神経外科の診療のほか、入院機能と24時間救急および透析医療を維持し、患者目線での医療を推進しています。

また、乳幼児検診から一般健診までの各種健診による疾病の早期発見や、健康づくり事業と連携した各種予防接種の推進、健やかな生活を送るため、健康維持・予防への取り組みにも力を注ぎ、若者から高齢者まで、全ての人が元気に活躍し続けられる社会の構築に向け、福祉との連携を進め、在宅での生活全般を支援していきます。

医師体制について

令和5年度の診療体制は、内科医師2人、外科医師1人、小児科医師1人の常勤医師4人のほか、定期支援内科医師1人を加えた5人体制による基本診療と、専門医師による消化器検査診療、整形外科診療および脳神経外科診療の体制を維持することができましたが、24時間救急医療体制、地域で必要とされる医療の継続には安定した医師体制の整備が重要となります。

不採算な医療の体制維持

町立厚岸病院は公営企業という観点から、経営にあつては独立採算を求められる企業です。しかし、町立

■収支の内訳 (単位：千円)	
内 訳	金 額
病院事業収益	1,332,909
医業収益	806,755
入院収益	271,831
外来収益	312,408
その他医療収益	76,871
負担金	145,645
医業外収益	526,154
患者外給食・その他医業外収益	97,723
他会計補助金・負担金	395,839
道補助金	32,592
特別利益	0
病院事業費用	1,305,013
医業費用	1,259,247
給与費	793,469
材料費・経費	372,563
減価償却費・資産減耗費	92,026
研究研修費	1,189
医業外費用	45,766
支払利息及び企業債取扱諸費	12,612
医療技術員確保対策費	8,491
雑損費	24,663
当年度純利益	27,896

※表示単位で四捨五入しているため合計額等は一致しません

収支状況の概要

令和5年度は、収益面では、入院患者数が増加し、入院収益で対前年度比増、新型コロナウイルス感染症に関する感染症病床確保促進事業費補助金が増となったものの、費用では、人件費の高騰により給与費が増となるほか、施設設備や医療機器の老朽化に伴う修繕費の増などもあり、費用全体では前年度を上回りましたが、これら収支不足を補てんするた

厚岸病院は自治体病院でもあり、地域で必要とされる医療の中でも民間の医療機関が提供困難な分野である、へき地医療や24時間救急医療、高度医療などを確保し提供する使命と役割を担っています。

こうした医療は『不採算医療』と呼ばれ、この体制を維持するために国からの交付金のほか町からの財政支援により病院経営が成り立っています。

患者数の状況

令和5年度の患者数のうち入院患者数は、年間1万1717人（1日平均32・0人）で対前年度比1481人、14・5％の増となりました。

また、外来患者数は、年間3万6471人（1日平均150・1人）で対前年度比203人、0・6％の減となりました。

めの一般会計からの繰入金をもって黒字決算とすることができました。

医師および医療スタッフの確保に向けて

病院経営にとって、常勤医師はもとより看護師や薬剤師をはじめとする医療従事者の確保は、病院運営の根幹をなすものです。

これら医療従事者確保の問題は、町立厚岸病院のみならず全国的な問題となっており、特に医師確保はへき地の自治体病院や診療所において共通した重要課題で、非常に厳しい状況が続いています。

■補助金と財源内訳の推移 (単位：千円)			
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
補助金	680,000	680,000	667,000
企業債元利・建設改良	162,073	166,161	175,877
救急医療	131,881	126,487	124,017
不採算地区病院対策	265,130	253,783	255,223
その他	120,916	133,569	111,883
うち法令基準に基づく国からの交付金額	248,081	249,787	246,136

※『法令基準に基づく国からの交付金額』は、国から示された数値を記載しています

■病院収支と累積欠損金の状況 (単位：千円)			
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
病院事業収益	1,284,879	1,318,441	1,332,909
入院収益	258,518	240,994	271,831
(入院患者数)	(11,503人)	(10,236人)	(11,717人)
外来収益	266,509	308,031	312,408
(外来患者数)	(37,004人)	(36,674人)	(36,471人)
他会計補助金	536,703	528,968	500,666
特別利益	0	0	0
その他	233,149	240,448	248,004
病院事業費用	1,294,317	1,297,286	1,305,013
給与費	786,101	781,057	793,469
材料費	111,538	118,006	116,248
経費	242,479	247,691	256,315
企業債利息ほか	22,594	17,584	12,612
特別損失	0	0	0
その他	131,605	132,948	126,369
当年度純利益	△9,438	21,155	27,896
累積欠損金	652,588	631,432	603,536
うち不良債務	0	0	0

医療や福祉はマンパワーとチームワークが大切です。町立厚岸病院が担う地域医療の継続や24時間の救急医療体制を維持するため、北海道などとも連携し、常勤医師の招へいと医療従事者の確保に全力で努めています。

老健『ここみ』の運用状況

医療と高齢者福祉に対応した介護老人保健施設『ここみ』(23床)は、病院と特別養護老人ホームの中間的な役割を持つ施設で、趣味やレクリエーション活動を行い、精神面でのケアを図りながら家庭への復帰を目指

して支援しています。

令和5年度決算では、黒字となったものの、前年度繰越金、基金繰入金の673万5千円を除くと、実質単年度では赤字となり厳しい経営状況となっています。また、利用状況では、1日当たりの平均入所者数が17・9人で前年度比0・8人の減の利用となりました。



救急外来の適正な利用のお願い

町立厚岸病院では、救急外来で24時間救急患者の受け入れを行っています。救急外来は、24時間いつでも受診できる便利な夜間診療ではなく、緊急時に受診するためのものです。

『コンビニ受診』と呼ばれる緊急性の低い軽症患者の受診は極力控え、診療時間内の受診をお願いします。

